

令和7年度 北区運営方針 自己評価

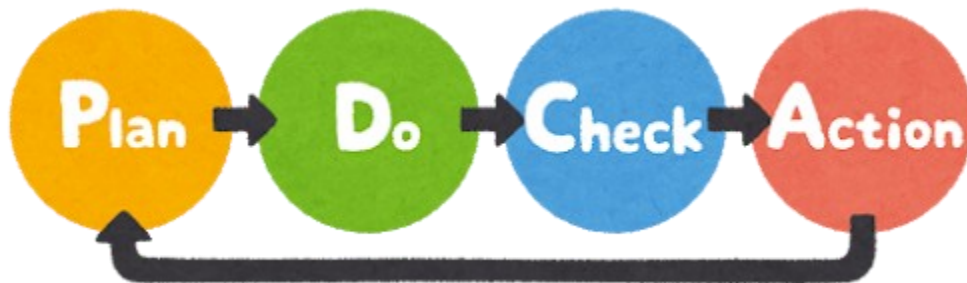
令和8年6月23日 北区役所

運営方針の策定

- 「運営方針」は、各所属における当該年度の施策の選択と集中の方針を明示し、その概要を示すものです。
- 企業活動などで使われる「戦略計画」（経営戦略）の考え方を行政に取り入れたもので、「部門ごとに、自らのミッション（使命・役割）を認識した上で、現状分析や将来予測などを踏まえ、めざすべき状態の実現に向けて解決すべき課題が何かを明らかにし、課題を解決するための効果的な方策を練り、その方策に即した具体的な行動を明らかにする。」という計画です。

運営方針の自己評価

- 策定した運営方針については、成果を常に意識して取組の有効性をチェックし、改善や新たな展開につなげるため、自己評価（年度末振り返り）を実施します。
- 運営方針において設定している目標の達成状況等について自己点検・評価（Check）を行うことによって施策・事業の改善・見直しを行い（Action）、当該年度の運営方針の改定や次年度の運営方針の策定、予算編成等に反映させること（Plan）につなげることを意図しています。



区の目標（何をめざすのか）

人が **集** い、ともに **支** えあい、 **絆** をはぐくむまち
Kita-ku where the people gather, support each other, and tie the KIZUNA

「人が集い、ともに支え合い、絆をはぐくむまち」を実現する。

区の使命（どのような役割を担うのか）

地域住民が安心して暮らせるだけでなく、
訪れる人々にとっても心地よいまちをめざす
とともに、温かいコミュニティをはぐくみ、
誰もが居場所を感じられるまちをめざす。



令和7年度 区運営の基本的な考え方

区の使命を踏まえ、次の3つを具現化したまちの姿に応じた施策を進めていく。

1 「安全・安心を身近に感じられるまち」

(防災対策、防犯・まち美化対策)

2 「誰もが幸せに暮らせるまち」

(北区地域福祉計画の推進、健康寿命の延伸、子育て施策の充実)

3 「地域資源やポテンシャルを活用し、 持続可能で魅力的なまち」

(地域コミュニティの活性化、教育環境の支援)

重点的に取り組む課題

(1) 安全・安心を身近に感じられるまち（防災対策）

課題認識

- ご近所付き合いや地域とのつながりの希薄化が進んでいることを踏まえ地域コミュニティを形成促進し、災害に備えた取組を推進する必要がある。
- 防災訓練や講座等を通じて地域防災力の向上を図る必要がある。

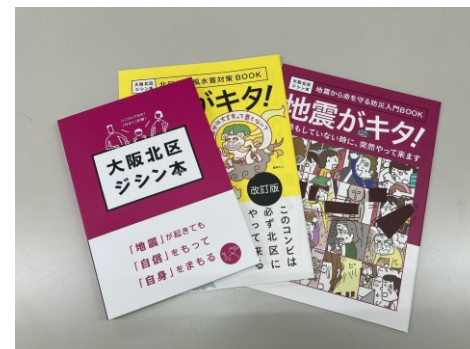
課題解決の方策

- 災害時にも支え合えるつながりづくり（共助）を促進する。
- 自分（家族）の命を自分（家族）で守り、地域で互いに助け合うため、地域での防災訓練をはじめとした実践や学びの機会を支援・実施する。



具体的取組

- ・ 避難所開設訓練などの地域自主防災活動を支援
- ・ 児童生徒に対する防災学習を学校及び地域と連携し実施
- ・ 区民をはじめ区内滞在者（在勤、在学者等）を対象とした防災講座の実施



課題の解決に向けた進捗度合を示した指標（アウトカム指標）

- ・ 防災訓練（各種講座、研修等含む）の参加者数

7年度指標	7年度実績・達成状況		前年度実績
12,000人	12,272人	達成	12,063人

重点的に取り組む課題

(1) 安全・安心を身近に感じられるまち（防犯・まち美化対策）

課題認識

- ・ 放置自転車をなくすため、地域住民、商店街、企業等と連携した啓発活動を行うとともに、放置自転車撤去を実施し、自転車利用者のマナー改善を図る必要がある。

課題解決の方策

- ・ 地域住民、商店街、企業等と連携した啓発活動を継続実施する。
- ・ 啓発、監視活動と連携して駐輪場の利用を促進する。



具体的取組

- 地域住民、商店街、企業等と連携した啓発活動
(梅田東、西梅田、堂島、曽根崎、北野、大淀東エリア)
- 自転車放置者への啓発指導員の日中・夜間常時配置
(茶屋町、天神橋筋六丁目駅、南森町駅、大阪駅、北新地駅)
- 駐輪場の整備



課題の解決に向けた進捗度合を示した指標（アウトカム指標）

- 地域住民、商店街、企業等と連携した啓発活動を実施した地域数

7年度指標	7年度実績・達成状況		前年度実績
4地域以上	6地域	達成	3地域

- 自転車放置率

7年度指標	7年度実績・達成状況		前年度実績
8%以下	3%	達成	8%

重点的に取り組む課題

(2) 誰もが幸せに暮らせるまち（地域福祉計画の推進）

課題認識

- ・ 地域における切れ目のない支援体制の構築を一層進める必要がある。
- ・ 福祉課題は、身近な地域での小さな異変の気づきから重篤化を防ぐことにつながることから、地域活動の取組を支援し、福祉人材（ボランティアなど）を継続的に発掘する必要がある。
- ・ 高齢者や障がいのある人々への日常の見守り活動や支援のため、地域や企業・さまざまな団体などと連携し、要援護者名簿を活用した取組を推進する必要がある。

課題解決の方策

- ・ 「まちとも事業」を継続的に実施し、日常的に福祉活動への意識を高めるとともに、サポート会員の人材を発掘し、住民相互の助け合いを推進する。
- ・ 地域での生活課題を早期に発見し、課題への支援や専門機関へ適切につなげるよう支援体制を構築する。また、地域で身近に相談できるつながりを形成するため、さまざまな世代や属性の方が交流できる居場所を増やしていく。
- ・ 北区の特性を活かし、民間企業などの多様な主体とのネットワークを拡げ、子育て支援やボランティア活動、まちづくりや防災防犯活動、健康づくりと連携し地域における福祉活動を推進する。

具体的取組

- まちとも事業サポート会員養成講座（まちともガイダンス）を開催
- 地域福祉コーディネーター（Co）配置（継続）
- コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置（継続）

「まちとも事業」とは
日常生活のちょっとした困りごとを、住民同士で助け合う活動



「地域福祉コーディネーター（Co）」とは
概ね地域社協の範囲で配置され、
地域の見守り活動や関係機関への
取り次ぎ等の役割を担う。



「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」とは
概ね中学校区の範囲で配置され、解決
困難な事例の支援機能強化やCoへの
支援・研修等の役割を担う。

課題の解決に向けた進捗度合を示した指標（アウトカム指標）

- 地域福祉コーディネーター（Co）により地域の見守り・声掛け活動を行った件数

7年度指標	7年度実績・達成状況		前年度実績
令和6年度実績以上 (22,093件)	23,068件	達成	22,093件

重点的に取り組む課題

(2) 誰もが幸せに暮らせるまち (健康寿命の延伸)

課題認識

- 疾病の早期発見・早期治療につなげることができるよう特定健康診査やがん検診の受診率の更なる向上や介護予防の取組みを推進する必要がある。

課題解決の方策

- 特定健康診査・がん検診のうち、受診率が低くかつ罹患率・死亡率ともに増加している大腸がん検診について、広報の取組を強化し受診勧奨を行う。
- 介護予防に効果がある「いきいき百歳体操」や「はつらつ脳活性化教室」を推奨することで健康づくりを推進するとともに、教室を支えるサポーターの養成や支援を行い継続した活動を支援する。



具体的取組

- 特定健診・がん検診について、広報紙、ポスターや
庁舎垂幕など広報の取組を推進。
- 「いきいき百歳体操」や「はつらつ脳活性化教室」
の新規開催を地域や自治会等への働きかけ。
- 「はつらつ脳活性化教室」のサポーター養成講座や
サポーターレベルアップ講座を開催し、サポーター
の新規獲得やモチベーションアップへの支援。



課題の解決に向けた進捗度合を示した指標（アウトカム指標）

- 北区保健福祉センターでの大腸がん検診の受診者数

7年度指標	7年度実績・達成状況		前年度実績
300人以上	318人	達成	283人

- 「いきいき百歳体操」及び「はつらつ脳活性化教室」の実施会場数及び参加者数

7年度指標	7年度実績・達成状況		前年度実績
26か所以上 350人以上	27か所 592人	達成	26か所 340人

重点的に取り組む課題

(2) 誰もが幸せに暮らせるまち (子育て施策の充実)

課題認識

- 子育てに不安や悩みを持つ保護者や不登校やひきこもりなどの課題を抱える家庭に対し、継続的な相談・支援を行う必要がある。
- 安心してこどもを生み育てることができるように妊娠期から就学期にわたる切れ目ない支援体制を整備する必要がある。



課題解決の方策

- 子育ての不安や課題を解消するための相談体制を充実させ、子育てニーズや各課題に対応した事業の利用案内を積極的に行うなど、相談ができる環境を整備する。
- 地域の関係機関や団体とのネットワークの拡充により、こども・子育て支援体制を強化し、見守りや支援を要するこども及び世帯の早期発見・支援につなげる。

具体的取組

- 子どもとの関わり方についての講習会（ペアレントトレーニング）を開催
- プレスクールワーカーを配置



「プレスクールワーカー」とは
未就学児を取り巻く課題に対する課題解決に向けた環境支援の役割を担う



課題の解決に向けた進捗度合を示した指標（アウトカム指標）

- 区役所の働きかけにより関係を構築できた子育て支援施設数

7年度指標	7年度実績・達成状況		前年度実績
全103施設	全101施設	達成	全96施設

重点的に取り組む課題

(3) 地域資源やポテンシャルを活用し、持続可能で魅力的なまち（地域コミュニティの活性化）

課題認識

- これまで地域と関わりの少なかったマンション住民をはじめとする地域住民に対し、地域活動への参加・参画を促す事業を地域の実情に合わせて進めていく必要がある。
- ライフスタイルの変化等により地域社会におけるつながりが希薄化しており、地域活動の担い手の不足が生じている。
- 多様な活動主体とのネットワークづくりの促進を支援する必要がある。



課題解決の方策

- 地域活動協議会の活動状況や自律の状況を把握し、地域カルテの更新などを通じて課題を共有したうえで、地域の実情に即したきめ細やかな支援を行い、マンション居住者を含め、より多くの住民参加による自律的な地域運営を実現する。
- 防災をテーマとした地域活動の支援の場や各種イベント等を通じてコミュニティの形成や地域のつながりを促進させる。
- 多様な活動主体と区役所との連携協働により地域活動を支援する。

具体的取組

- 地域活動協議会の活動状況を把握し、各地域の活動の様子をSNS等でタイムリーに発信し、広く周知を行った。
- 各地域活動協議会の運営方法等の好事例を、まちづくりセンター職員を通じて他地域に共有するなど、より良い地域活動運営に繋げるための支援を行った。
- マンション管理組合向けのイベントにおいて、町会加入促進チラシの配布と、マンションコミュニティ支援に向けたブースを出展した。

課題の解決に向けた進捗度合を示した指標（アウトカム指標）

- 地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合

7年度指標	7年度実績・達成状況		前年度実績
94%以上	94.5%	達成	97.9%

- 防災講座受講者や各種イベント参加者等にコミュニティの形成や地域のつながりの促進のためのパンフレットを配布

7年度指標	7年度実績・達成状況		前年度実績
1,000人以上	1,100人	達成	1,300人

- 企業や学校、団体などと区役所が連携・協働して、新たに地域活動を支援した件数

7年度指標	7年度実績・達成状況		前年度実績
3件以上	6件	達成	5件

重点的に取り組む課題

(3) 地域資源やポテンシャルを活用し、持続可能で魅力的なまち（教育環境の支援）

課題認識

- 小・中学校に対し、子どもたちが夢や目標を持つきっかけとなる支援を行う必要がある。



課題解決の方策

- 小中学校に対して、区内に集積する企業・団体や文化施設などの地域資源を活かした多様な体験事業を実施する。

具体的取組

- ・ 小・中学校に対する芸術鑑賞会の実施
- ・ 中学校部活動に対する支援の実施
- ・ 中学校に対するキャリア教育支援の実施



課題の解決に向けた進捗度合を示した指標（アウトカム指標）

- ・ 区が実施する体験事業に参加して夢や目標を持っている、夢や目標を持ちたいと思うと回答する中学生の割合

7 年度指標	7 年度実績・達成状況		前年度実績
令和 6 年度実績以上 (91%)	91%	達成	91%